

新型コロナウイルス感染症対策 特別定額給付金 15億8,450万円

第2回 臨時会

第2回臨時会を5月13日に開催しました。今回は、新型コロナウイルス感染症の各種対策に取り組む補正予算などを審議し、提出議案全て全員賛成で可決しました。その主な内容を紹介します。

町民一人あたり10万円を給付

◆基準日

令和2年4月27日

◆対象者

基準日において住民基本台帳に記録されている
1万5千600人（外国人含む）

◆給付額

一人につき10万円 【申請期限】 8月14日（金）

子育て世帯へ臨時特別給付

◆対象者

令和2年4月分（3月分を含む）の児童手当受給者に給付
されます。

◆給付額

対象児童一人につき1万円

審議・可決された令和2年度一般会計補正予算の概要

件名・主な歳出内容	
◆一般会計補正予算（第1号）94万円の増（総額68億2,094万円）	
4万2,000円	妊婦へ布マスクを24枚（8枚×3回）配布
115万1,000円	役場庁舎等消毒液、非接触式体温計4台整備、パーテーション等
56万9,000円	消毒液、非接触式体温計2台整備等（糸桜里の湯ばんげ分）
214万7,000円	小学校児童用マスク、消毒液、非接触式体温計2台整備
99万6,000円	中学校生徒用マスク、消毒液、非接触式体温計1台整備
44万2,000円	子育てふれあい交流センター他で使用するマスク、消毒液、非接触式体温計3台整備
25万2,000円	マスク、消毒液、非接触式体温計1台整備（保育所分）
92万4,000円	マスク、消毒液、非接触式体温計2台、加湿器2台整備（幼稚園分）
◆一般会計補正予算（第2号）16億467万円の増（総額84億2,561万円）	
15億8,450万円	特別定額給付金（一人一律10万円の給付金）
2,017万円	子育て世帯臨時特別給付金 （児童手当の支給世帯に一人一律1万円の給付金）

町に「要望書」提出 新型コロナウイルス対策に関する要望について

◆ 1. 感染拡大防止対策の強化と医療従事者等への偏見防止について

本感染症に関する正確な情報を収集し、町民に対して積極的に情報発信し、情報共有をはかること。また、感染防止に対する注意喚起を徹底すること。感染者や医療従事者及びその家族等に対する偏見や差別を防ぐ方策を講じること。

◆ 2. 学校休業等への対応について

園児や児童・生徒の安全確保と精神的ケア及び学力低下を招かないよう学習支援などに努めること。

◆ 3. 経済対策について

影響を受けている事業者などの実態把握に努め、各種支援制度を周知するとともに、相談・支援体制の充実を図ること。また、収入減収を余儀なくされ、支援が届きにくい町民、農業者、個人事業主、本町出身の就学学生などへの支援にも力を入れること。本感染症の影響による町税・保険料等の納付困難者に対する減免や支払猶予等の支援を行うこと。

◆ 4. 医療崩壊防止について

関連機関と連携し、会津西部地域への感染拡大を想定した情報収集及び発熱外来等の速やかな設置および医療提供体制を確立すること。また、本感染症によって一般診療が抑制されないように対策を講じること。



正副議長と齋藤町長

請 願 の 審 査

請願番号	受理年月日	件名	請願者住所氏名	紹介議員	審査結果
第1号	令和2年 4月28日	飲食業・観光業等に携わる中小事業者の救済及び地方経済のための対策のさらなる加速を求める意見書提出の請願について	会津坂下町字西南町裏甲4005-13 会津坂下町商工会 会長 五十嵐正康	物江政博 赤城大地	採択



みんなのひろば



田村 圭さん
(仲町)

とても爽やかで
いつも元気に
活躍されています

新型コロナウイルスによって社会情勢は一変しました。新しい生活様式が導入され、国・県・町はさまざまな施策を講じて鈍化した経済活動を活性化させようとしています。先日、地方自治体への臨時交付金の増額を盛り込んだ政府の第二次補正予算が成立しました。

窮状にある事業者を救い、地域経済を立て直すため、交付金を活用した地元消費の喚起策を強く望みます。新型コロナウイルスと闘いながら「継続可能なまち会津坂下町」を目指して。(6月15日寄稿)

【議会より】

今回の新型コロナウイルスにより生活様式が変わる中で、どのように町が関わり、町民の生活を守っていくのが問われていくと思います。町民の皆さんと共に健康で豊かになるための議会でありたいと思っています。

【みんなのひろば】について

私たちは町民の皆さんとつながり親しまれる広報誌づくりを目指しています。このコーナーでは様々な分野で活躍されている方を紹介していきますので、よろしくお願ひします。

ばんげ未来トークの開催について

新型コロナウイルス感染症対策のため募集を休止していましたが、8月より募集を再開する予定です。元気な町にするために、新しい生活様式を取り入れながら、町民の皆さまと様々な意見交換を行ってまいりたいと思います。詳しくは町議会ホームページをご覧ください。

次回定例会のご案内

第3回定例会は、9月3日(木)から15日(火)までの会期(予定)です。一般質問は9月7日(月)、8日(火)午前10時開会予定です。

■記事訂正について

前号197号の記事について誤りがありましたので、訂正してお詫び申し上げます。

●訂正箇所

P10定例会

(正) 第1回

(誤) 第4回

編集後記

新型コロナウイルスの世界感染拡大で、私たちの生活は一変しました。感染拡大のような「非日常」の環境、不安が一気に高まり、安心感を得ようとしたり、不安な気持ちが続いたのは、大人だけではなく子どもたちも同じだったことでしょう。「非日常」が起きた時、私たちは何を求め、どんな行動をするのか。他人を思いやる優しさを信じたい。「新しい生活様式」が提示されました。そして、新型コロナウイルスと自然災害の複合災害にも備えなければ。

(副委員長 横山智代)

広報広聴特別委員会

- 委員長 青木美貴子
- 副委員長 横山 智代
- 委員 目黒 克博
- 委員 蓮沼 文明
- 委員 小畑 博司

※ 本誌掲載記事写真等の無断転載を禁じます。